



氏名 吉田 則夫 (よしだ のりお) 1945年生
 所属 教育学部・国語教育・教授
 TEL 086-251-7613 (ダイヤルイン)
 FAX 086-251-7755
 E-mail yoshida3@cc.okayama-u.ac.jp
 H P http://www.okayama-u.ac.jp/user/ed/Edu.html

ひとこと：国語学、主として音声・音韻論・語彙論を研究しています。

対象としては、地域言語、幼児言語、児童の言語等を研究領域としています。

1、現代日本語の語彙の体系的記述

現代日本語の語彙について、その全体を構造的に記述するうえでの方法論の開拓及びその具体的記述について研究しています。

2、地域言語の実態についての総合的記述

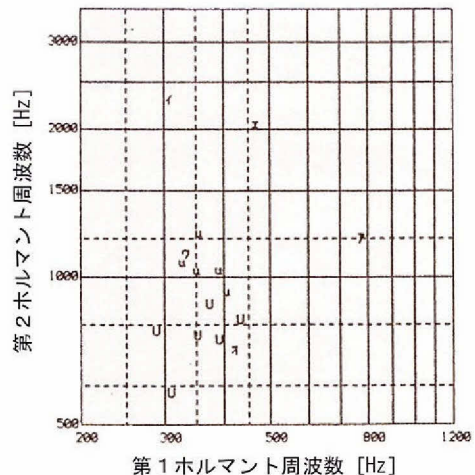
主として中国・四国方言を対象に、音声・表現・語彙の各面について、特徴的事象に着目して記述分析しています。

3 地域の民俗事象・昔話・俗謡・言語テキストの記述

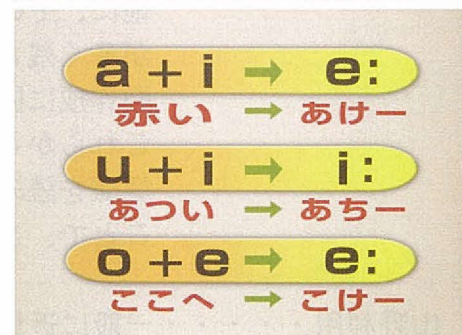
市町村の史誌等の編纂にあたって、生活や文化に関わる諸事象を調査蒐集し分析しています。

4. 幼児言語の縦断的研究

長男・長女の1歳～小学校入学までの幼児言語記述資料を対象に、特定の幼児の言語発達過程を縦断的に分析しています。これらの結果のデータベース化も行っています。



高知市方言の「ウ」母音の音響特性



岡山弁の特徴 (NHKテレビ「ふるさと日本のことば」より)

キーワード：語彙、語彙表・語彙集、地域言語、中国・四国地方の方言、岡山県の方言、幼児言語

キーワード用語集（吉田則夫先生）

- 語彙・ 語のまとまりないし集まりを表す概念。身体語彙、親族語彙、色彩語彙、感覚語彙、感情語彙、時間語彙等を「基礎語彙」、衣食住語彙、生業語彙、地名語彙、自然環境語彙等を「生活語彙」、備前焼の語彙、紙漉きの語彙、養蚕語彙、マタギの語彙等を「専門語彙」と類別できる。
- 語彙表・語彙集・ . . . 現代日本語の代表的な語彙表として国立国語研究所（『分類語彙表』増補改訂版 2004）やNTTコミュニケーション科学基礎研究所監修『日本語語彙大系』<CD-ROM版>（1999 岩波書店）がある。また、日本の地域社会における伝統的な民俗語彙を集大成したものに、柳田国男監修『総合日本民族語彙』全五巻（1955 平凡社）がある。
- 地域言語・ 「方言」、「お国言葉」、「〇〇弁」という呼称に対して、地域の言葉をより客観的に呼ぶ言い方として、近年、一般化している。薩摩も津軽も、京都も東京も、備前も美作も、それぞれ、その地域の「地域言語」が存立しているのとらえることができる。
- 中国・四国地方の方言・ . . . 大きくは西日本方言に属するが、中国方言と四国方言ではかなり様相が異なる。四国方言では京阪式アクセントをはじめ、関西方言の影響が認められるが、中国方言は東京式アクセントであり、むしろ関西方言を堰き止めている観がある。
- 岡山県の方言・ . . . 岡山県内の地域差は、ほぼ、備前、備中、美作の旧国境で区画される。音声では連母音の同化現象が注目される。表現ではアスペクト、疑問詞の係り結び、敬語形式等に特徴が認められる。
岡山県方言の主な関係文献としては以下のものがある
虫明吉治郎『岡山弁あれこれ』（1978）、
同 『岡山弁あれこれ Part2』（1993）、
青山 融 『岡山弁JAGA』（1998）、
今石元久 『岡山言葉の地図』（2000）、
吉田則夫 『おかやまのおもしろ方言集 岡山の方言辞典』（2002）
- 幼児言語・ 幼児の使用する言葉の全体を体系的に指す。いわゆる「幼児語」は発音や語構成上の特徴的な言葉を指し、親や保育者の用いる「育児語」とも重なる。幼児言語の縦断的記述として、野地潤家『幼児期の言語生活の実態』I～IV（1973～1977）がある。